

# 「新しい戦前にさせない」

連続シンポジウム

## 5.23 第3回シンポ

統一教会と自民党が呼び込む戦争

この国の湿った精神風土は統一教会等のカルトの温床となり、それと一体化した自民党と公明党の連立政権の存続を許してきた。

典型的な世襲政治家の岸田文雄は、国民の生活に目を向けることなく、原発の再稼働や軍拡に邁進している。

私たちは「いのちの安全保障」を最優先させる立場から、歌と講談と討論で、それにストップをかける。

多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 5月23日(火) 16時 開場15時30分

会場 衆議院第一議員会館・B1・大会議室

主催 共同テーブル

### プログラム

▶総合司会 杉浦ひとみ (弁護士)



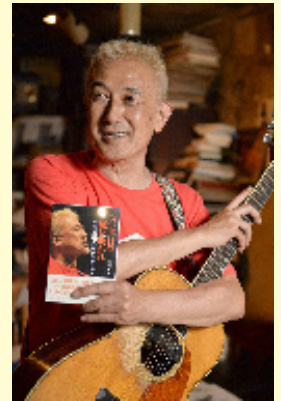
杉浦ひとみ

▶主催者挨拶 佐高 信

歌 中川五郎 (フォーク・シンガー)



神田香織



中川五郎

講談 神田香織 (講談師)

▶シンポジウム 統一協会と自民党が呼び込む戦争

有田 芳生 (ジャーナリスト)

平野 貞夫 (元参議院議員)

前川 喜平 (元文部科学省事務次官)

佐高 信 (評論家)



有田芳生



平野貞夫



前川喜平



佐高 信

### ●申し込み先

多くの参加者が見込まれます。定員(250名)になり次第、申し込みを締め切りますので、至急、下記のメールアドレスまで、出席申し込みをお願いいたします。

E-mail : [e43k12y@yahoo.co.jp](mailto:e43k12y@yahoo.co.jp)

共同テーブル連絡先： 藤田高景 090-8808-5000 / 石河康国 090-6044-5729

# 「新しい戦前にさせない」共同テーブル・アピール

## 暮らし(いのちき)は武器で守れない

暮らしを大分では(いのちき)と呼ぶ。いのちを連想させる味わい深い方言である。政府は憲法9条を捨てて軍備拡大に踏み出そうとしているが、それは生命を削り、暮らしを壊す道である。暮らしと軍拡は両立しない。戦火の消えないアフガニスタンで、中村哲さんは井戸を掘り、暮らしを建て直して平和を築こうとした。憲法9条を持つ日本の中村哲さんはそれまでフリーパスでアフガンを歩くことができた。しかし、イラクへの自衛隊派遣が、その平和のパスポートを奪う。だから、哲さんは国会で「自衛隊派遣は有害無益」と訴えた。軍隊が国民を守らないことは旧満州や沖縄の例で明らかである。

軍備に頼らない平和を求めるために、私たちは「安保三文書」を徹底批判する。暮らし(いのちき)か、軍拡か。三橋敏雄という俳人は「過ちは繰り返します秋の暮」と詠んだが、私たちは愚かな軍拡の道を選ばない。

2023年春

### 共同テーブル発起人

浅井基文(元広島平和研究所所長・政治学者) 安積遊歩(ピアカウンセラー) 雨宮処凛(作家・活動家)  
植野妙実子(中央大学教授・憲法学) 上原公子(元国立市長) 大内秀明(東北大学名誉教授) 大口昭彦(弁護士・救援連絡センター運営委員) 海渡雄一(弁護士) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 鎌田 慧(ルポライター) 金城 実(彫刻家) 瀧 厚(山口大名誉教授・歴史学者) 古今亭菊千代(落語家)  
佐高 信(評論家) 清水雅彦(日体大教授・憲法学) 白石 孝(NPO 法人官製ワーキングプア研究会理事長)  
杉浦ひとみ(弁護士) 竹信三恵子(和光大名誉教授・ジャーナリスト) 田中優子(前法政大学総長)  
鳥井一平(全統一労働組合・中小労組政策ネットワーク) 前田 朗(朝鮮大学校講師) 宮子あずさ(随筆家)  
室井佑月(小説家・タレント) 山城博治(沖縄平和運動センター顧問)

\*\*\*「共同テーブル」はこれから多彩なテーマとパネリストで、連続シンポを企画していきます\*\*\*  
共同テーブル HP に、賛同申し込み書式があります。それに記入していただければご案内をメールでさしあげます。